

おひさま新聞

2025. 6. 9

NO.11

<社会生活との関わり・
自然との関わり、生命尊重 編>>

年長と年中はふれあい広場に行き、さつま芋の苗を植えました。葉は土の外に出し、優しく土をかける事を教えてもらい「これでいいの?」「わからない」など聞きながら苗植えをしました。みんなの代わりに毎日水やりをしてくださり、立派なさつま芋になるように育ててくれる羽賀さんに、感謝の気持ちを込めて「(さつま芋のお世話を)お願いします」と声を揃えて言いました。秋ごろには大きく太いさつま芋を掘りに行きたいと思います。楽しみです。

年少は幼稚園の畑でさつまいもの苗を植えました。立派に育つか?



「こんにちは! 元気になってたか? ここまで来てえらかったね。玉ねぎは美味しかった?」と子どもたちに話し掛けてくださいました。子どもたちは玉ねぎを何の料理に使ったかを伝えていました。

さつま芋の植え方を教えてもらいました。子どもたちも真剣に聞いています。



苗を持ち具体的に教えてもらったので、子どもたちも分かりやすかったようです。



苗を植えました。
羽賀さんに教えてもらった通りに葉を出し、土を優しくかけていましたよ。



「よろしくお願いします。」

年少のさつま芋の苗植え

「ふわふわのお布団にする!」



羽賀さんはいつも丁寧に子ども達と関わってくださるのですが、そのような関わりの中で、自分たちの為に畑をお世話してくださる方だと子どもたちはわかっています。この豊能町で自分たちの事を大切に思ってくくださる人が近くにいるという事は、地域の魅力ですよ! お世話になっている人の思いに触れ、感謝の気持ちをもてると良いなと思います。

「自然との関わり」については、さつま芋などの野菜の苗を植える事で、自分達が普段口にしている物は様々なお世話をする事で収穫できる→大切に食べよう! という意識が育まれますよね。実際に様々な物に触れて、五感を刺激しながら体験できることを大切にしていこうと思います。